

## 「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2022年 12月 15日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション				
②測定ツール名	進路マップ 実力診断テスト				
③主な対象者	四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生向け				
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ
	○	○	○		標準タイプ
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p><b>【目的】</b>          高校履修範囲を中心（1年6月回は義務教育範囲含む）に基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・基礎学力向上・学習意欲の向上に役立ててもらうことを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b>          ・「記述式」問題により、義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度をそれぞれの学校の進度に合わせて（回ごとの進度対応）、より客観的に測定することができます。回ごとに生徒用事前教材が準備されているので、生徒一人ひとりが意欲的に事前学習に取り組める仕組みになっています。          ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況を全体としての学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」や「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」別の結果として提供すると共に、学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。          ・学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。          ・1年生から3年生まで各学年3回構成となっており、選択問題も含まれますので、学校の進度により合った実施が可能です。国語・数学・英語の教科問題50分間×3教科に加えて、学校採点の英語スピーキング問題5分間、アンケート30分間の構成です。          ・生徒の学力だけでなく、高校での多様な取り組みおよび大切にしている意識等が進学先での学びとつなげて考えられる診断（以下、志望校等に関する診断）を出しています。</p>				
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p><b>【特長】</b>          ・診断結果は「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の観点で評価し、テストと合わせて学習力（教科学習面・生活面・進路面）に関するアンケートがあり、学力と学習力（学習状況）の両面から、生徒向けにアドバイスを返却します。          ・結果を振り返る中で「振り返り問題」を提示し、事後の学習行動を具体的にアドバイスします。          ・志望校等に関する診断を出すことにより学力だけではなく観点での進路選び方や進路へのこだわりといった意識面を醸成します。          ・志望校等に関する診断は学校の希望により、商品お申し込み時に非表示を選択することが可能です。※資料7</p> <p><b>【活用例】</b>          1年6月に実施し、入学後1学期段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人票を元にしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年9月に2回めを、1年1月に3回めを受検することで、4月からの学力の推移と学習力の変容を定期的に測定・把握し、指導改善のPDCAサイクルを回し、次学年の指導計画立案につなげます。</p>				
⑧実施期間、年間実施回数	<p><b>【実施期間】</b> 実施時期は、1年6月・1年10月・1年1月、2年6月・2年10月・2年1月、3年4月、3年6月・3年9月の計9回。          2年10月より「基礎・活用」、3年4月より「理科」「地歴・公民」が付きまます。</p>				
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBTのみ				
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語		
	各学年回 記述式問題：50分	各学年回 記述式問題：50分	各学年回 記述式問題：50分（リスニング・リーディング・ライティング） 学校採点のスピーキング問題：5分		
⑪受検料	1年6月～2年6月まで：1,900円 2年10月以降：2,200円※すべて消費税等込				
⑫標準返却期間	答案到着後約4週間で返却。				
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<a href="https://bhso.benesse.ne.jp">https://bhso.benesse.ne.jp</a>				

(様式2)

## 認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

### I. 出題に関すること

#### (1)出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生

測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

出題範囲：

高1・6月…義務教育範囲、および、高1の5月までの履修範囲からの出題

高1・10月…義務教育範囲、および、高1の9月までの履修範囲からの出題

高1・1月…高1の12月までの履修範囲からの出題

高2・6月…高2の5月までの履修範囲からの出題

高2・10月…高2の9月までの履修範囲からの出題

高2・1月…高2の12月までの履修範囲からの出題

高3・4月…高1・高2全履修範囲からの出題

高3・6月…高3の5月までの履修範囲からの出題

高3・9月…高3の8月までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、各実施月に応じた出題範囲を決定します。

※一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能。

主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

難易度：平均40%前後の得点率となる難易度

## (2)構成等

### ①出題形式

選択式 40%、短答式 40%、記述式 20%程度。

### ②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ割合。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (現代の国語、言語 文化)	選択科目範囲	備考
1年6月	60%	40%	0%	
1年10月	60%	40%	0%	
1年1月	60%	40%	0%	
2年6月	0%	100%	0%	
2年10月	0%	100%	0%	
2年1月	0%	100%	0%	
3年4月	0%	60%	40%	
3年6月	0%	60%	40%	
3年9月	0%	60%	40%	

### (3)難易度設定の考え方・方法

過去の結果データを参考にし、難易バランスを重視した作問により、全体で 40%程度の得点率となる難易度とします。

### (4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

テストの出題と、同程度の難易度・出題形式の問題を掲載した事前学習教材に取り組むことにより、出題範囲の基本事項をおさらいするとともに、難易度や形式に慣れたうえで、解答に臨むことができます。

### (5)その他特長

2年の10月・1月においては、就職するにあたって必要な語彙力、計算力、読解力を測定する「基礎・活用」、3年の4月・6月・9月においては、「基礎・活用」に加えて理科（物理、化学、生物）、地歴公民（世界史、日本史、地理、政治・経済）も出題します。

## Ⅱ. 結果提供に関すること

### (1)受検者個人への結果提供内容・方法

学校を通じた紙媒体による返却

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：個人診断レポート」（資料3）参照

(学力面)

- ・教科学力テストにおける今回と前回の「学習到達ゾーン」（以下GTZ ※1）
- ・コース・科目ごとの得点／配点、校内での順位、受検者数、偏差値、平均点、全国での順位、受検者数、平均点を示すことで、相対的な比較での学力定着度を確認できます。
- ・過去に受検した「進路マップ実力診断テスト」及び弊社の他アセスメントとのGTZによる成績推移を示すことで、生徒自身の学力推移を確認できます。
- ・科目ごとの大問別成績（得点、配点、得点率、全国平均）および1つ上のGTZに上がるための点数など、具体的事後学習をするきっかけを提示。目指すべき目標をスモールステップで示すことにより、受検者の学習意欲喚起を支援します。

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

(進路面)

- ・今回、前回それぞれの希望進路、希望系統、希望地域、こだわりを示すことで、過去からの意識変化と現状の確認ができ、志望理由や自己アピールポイントを考えるきっかけが作れます。

(学習習慣・生活面)

- ・今回、前回それぞれの授業、出席、定期試験学習の様子や今回の起床・就寝時間など学力以外の多面的な情報も掲載し、学びに向かうための土台としての力が醸成されているかを確認できます。

## (2)学校等への結果提供内容・方法

学校を通じた紙媒体および電子データによる返却

<学年・進路・教科担当の先生への提供内容・方法>

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：学年診断・教科診断レポート」（資料1）等参照。

主に学年別のデータとして以下を中心に提供。

(学力面)

- ・コース、各教科での GTZ 度数分布（今回、過去回）
- ・過去と比較しての成績上昇者、下降者の人数・割合
- ・各教科の問題群別平均得点率（校内、全国）

(進路面)

- ・希望進路、こだわり度などのアンケート集計情報（今回、過去回）

(学習習慣・生活面)

- ・学習時間、授業への取り組み、定期試験学習への取り組み状況などのアンケート集計情報（今回、過去回）
- ・学力面および学習習慣・生活面のクラス別概況の情報
  
- ・学年集団としての学力面、進路面、学習習慣・生活面の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・クラス別概況を示すことで、各クラスの傾向や注目ポイントを把握でき、クラス担任先生とのコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

<クラス担任の先生への提供内容・方法>

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：クラス診断レポート」（資料2）を参照

※クラスごとに冊子が分かれます

主にクラス別のデータとして以下を中心に提供。

(学力面)

- ・コース、各教科での GTZ 度数分布

(進路面)

- ・希望進路、こだわり度などのアンケート集計情報

(学習習慣・生活面)

- ・学習時間、授業への取り組み状況などのアンケート集計情報
- ・該当クラスの各生徒の学力面、進路面、学習習慣・生活面の概況を一覧化した情報
- ・該当クラスの褒めたい生徒、励ましたい生徒一覧

- ・クラス集団としての学力面、進路面、学習習慣・生活習慣面の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。
- ・各生徒の概況を示すことで、各生徒の様子や成長のポイントを把握でき、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

電子データによる返却（専用無料 Web サイト）

- ・ 教師用帳票の PDF データおよびそのもととなるローデータ（エクセル・CSV データ）について、専用無料 Web サイトに搭載。エクセル・CSV データについては、学校が必要に応じて加工等を行うことが可能。
- ・ 設置者等への報告資料の雛型となる書式及び今回の結果の振り返り情報をデータで提供予定です。この書式と情報をもとに学校で、設置者等への報告資料を作成できることを想定しています。

#### 分析会の実施について

- ・ 実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供などを行います。

### (3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

配点に基づいて得点合計を算出し提供しています。また、得点合計と合わせベネッセ総合学力テスト共通の指標である GTZ を提供しています。

#### <GTZ 設定方法>

「GTZ」は学年・回・タイプごとに決定しており、「A1～D3 -」の 18 段階で示しています。

これまでの受検実績（受検母集団データより同一受検者を抽出）にもとづき、ベネッセ総合学力テストの「到達度指標」の設定にあわせて GTZ を設定しています。

#### <GTZ（学力の到達度）の目安>

ベネッセ総合学力テストの結果を参考に GTZ の各ゾーンについて次のような目安を設けています。GTZ の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

#### （領域等毎の評価）

1 年 6 月～2 年 6 月においては「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」について、それぞれの得点率を算出し提供しています。また、「思考力・判断力・表現力」に関する評価は次の通りです。

#### <「思考力・判断力・表現力」問題レベル定義」の設定方法と目安>

レベル定義は、4 段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

## Ⅲ. 運営に関すること

### (1) 問題の質を確保するための方法

・ 複数名の作問スタッフが問題作成から検討までを行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易を維持できています。

## (2)学校における実施方法

- ・弊社から学校に問題・アンケートなどの資料を送り、学校で実施していただく。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供。
- ・問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。  
また、ベネッセの担当者が各拠点ごとに配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応が学校単位でできるようになっています。
- ・実施方法について、統一実施日を設定しています。国語・数学・英語の3教科受検を推奨しているものの、教科単位で受検いただいた場合は、その教科についての成績を返却する。継続的な受検を前提としており、最新回の受検結果の中に、前回の受検結果も推移（過回比較）で掲載し、前回からの変化・変容を確認することを可能にしています。

## (3)採点の方法と体制

弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

## (4)情報管理体制

### セキュリティ

- ・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。  
全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

### 緊急事態や不測の事態への対応

- ・ 緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・ 事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

## IV. 情報開示に関すること

### (1) 障害のある受検者等への配慮

#### 1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

#### 2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応します。

### (2) 事前／事後学習教材の有無、内容

事前に教科学習と進路学習が行える教材として「学習・進路ノート」を提供。

### (3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

アンケート「学習・進路チェック」があります。「進路意識」「学習と生活」「自分らしさ発見」の3テーマを中心に質問項目を設けています。

### (4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

### (5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

### (6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、ベネッセから直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。



(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション  
測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト  
対象教科:国語・数学・英語  
測定内容の区分:標準タイプ

**I. 出題に関すること**

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準					
			I.(1)	I.(2)	I.(3)	I.(4)	I.(5)	

**II. 結果提供に関すること**

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II.(1)	II.(2)
帳票見本:教師用	実力診断テスト:学年診断・教科診断レポート 実力診断テスト:クラス診断レポート ※見本は21年度版です。	資料1 資料2		○
帳票見本:生徒用	実力診断テスト:個人診断レポート ※見本は21年度版です。	資料3	○	
帳票見本:英語スピーキング学校採点キット支援ツール	英語スピーキング学校採点キット支援ツール ※見本はツールを使用して出力したイメージです。	資料4		○
帳票見本:生徒用	実力診断テスト:個人診断レポート ※見本は21年度版です。	資料7	○	

**III. 運営に関すること**

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書 ※見本は21年度版です。	資料5
学校用実施マニュアル	実施の手引き ※見本は21年度版です。	資料6

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

**IV. 情報開示に関すること**

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

## オプション機能について

※いずれも特別な申し込みは必要ありません。

### ■学校オリジナル質問

学校で行われている調査や、テストご実施時期に合わせた質問など、学校独自に設定した質問項目について、「進路マップ」の回答用紙・回答欄を利用して実施できます。生徒の回答結果はインターネットフォルダとFINE SYSTEMを通じてお届けします。

### ■専門高校別集計

同じ科・コースの生徒を母集団とし、県・ブロック別に集計します。  
同じ科・コースで学ぶ全国・地域の高校生の中における、自校の生徒の位置をとらえることができます。  
※詳細につきましては、お客様サービスセンターまでご連絡ください。

# お申し込み方法

WEBでのお申し込み



Benesse High School Online からご利用いただけます。  
<http://www.bhso.ne.jp>

※お申し込みには、学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。  
※ホームページメンテナンス期間は入力できません。

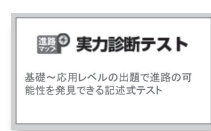
★前年度や前回のお申し込み履歴がいつでも確認できます！★年間分をまとめてお申し込みいただけます！

お申し込みの流れ

①Topページのバナーをクリック



②お申し込みいただく教材をクリック



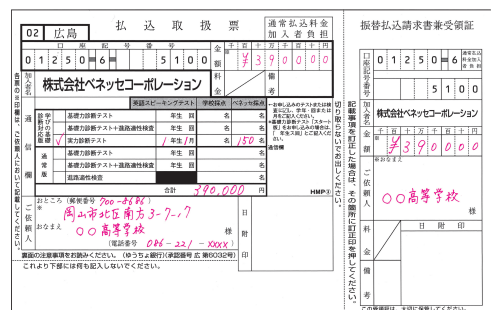
③必要情報を入力



※使用している図版はイメージですので、実際とは異なる場合があります。

## ご送金方法

郵便振替用紙(手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。  
郵便局がお渡する「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。  
※実力診断テストはすべて《学びの基礎診断認定版》となります。  
※請求書等は上記WEBよりダウンロードできます。



▲郵便振替用紙記入例

## お客様サービスセンター

先生方からのお申し込みやお問い合わせを承ります。

TEL **0120-350455** 通話料無料

受付時間 / 月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00  
祝日、年末・年始を除く

## WEB サポートデスク

Benesse High School Online / FINE SYSTEM / Compass / インターネットフォルダ / マナビジョン(生徒向けサービス)のお問い合わせを承ります。

TEL **0120-350124** 通話料無料

受付時間 / 月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00  
祝日、年末・年始を除く

WEB <http://www.bhso.ne.jp>

※Benesse High School Online のご利用には学校 ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online 内の「個人登録」から発番していただけます。

CHAT 上記 Benesse High School Online からチャットでもお問い合わせを受け付けています。

※FINE SYSTEM のお問い合わせについては、下記 E-Mail から受け付けています。FINE SYSTEM 以外については、メールでのお問い合わせはご遠慮ください。下記アドレスには、個人情報を含むデータ送信をしないようお願いいたします。  
E-Mail [finehelp@mail.benesse.co.jp](mailto:finehelp@mail.benesse.co.jp)



# 実力診断テスト

1年生  
記述式

のご案内

特長

- 1 生徒の受験結果・希望条件から具体的な進路選択肢が提示される「ねらえる上級学校」を掲載  
だから 生徒が進路について視野を広げることができます！
- 2 2018年度より出題難易度の幅を拡大  
だから 多様な学力層の生徒が受験できます！
- 3 学力の3要素のバランスがわかる結果を返却  
だから 生徒の授業理解度に基づいた授業改善ができます！

「高校生のための学びの基礎診断」に認定されています

## 実力診断テスト

記述式問題



英語スピーキング

学校採点版 もしくは ベネッセ採点版

## ●英語スピーキングの実施方法について

学校採点版もしくはベネッセ採点版のいずれか1つを選択できます。

実施方法	学校採点版	ベネッセ採点版
	問題を収録したCDを用い対面で実施いただき、採点基準にのっとり生徒の解答を先生が評価します。学校のご予定に合わせて実施できます。弊社での採点処理・結果返却は行いませんが、Benesse High School Online上のマクロツールを用いて、学校での成績集計が可能です。	学校のPC教室にて学校のパソコンと、弊社からお送りするヘッドセットと、USBメモリーに内蔵された問題アプリを使用してテストを実施します。USBメモリー内に保存された生徒の解答データを、弊社で回収・採点処理し、結果を返却します。

## ⚠ ベネッセ採点版のお申し込みに関するご確認事項

- 受験用USBメモリーは1つのお申し込みにつき最大50+予備2のお送りになります。1つのUSBメモリーに複数の受験者数分の解答を保存できます。
- 英語スピーキング資料は実施日の3営業日前をめどにお届けします。実施予定日から8営業日以内にご実施のうえご返送ください。



## ●英語スピーキング(ベネッセ採点版)の結果返却について

実力診断テストの英語記述式結果と合わせ、学習指導要領に記載されている「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能に加え、ベネッセ独自の「基礎事項」を加えた5観点で分析します。記述式の結果データと同送で、先生向けと生徒向け英語スピーキング結果データを紙帳票でお届けします。

## 料金および実施可能期間・お申し込み締切日

	お申し込み締切日	実施日
1年生 6月	5月 7日(金)	5月29日(土)
1年生 10月	10月 1日(金)	10月23日(土)
1年生 1月	12月17日(金)	1月15日(土)

料金は1年生全回共通です。英語スピーキングの選択により異なります。

英語スピーキング	ご請求額	標準受験料
学校採点版	各1,790円	各2,090円
ベネッセ採点版	各2,600円	各2,900円

※記載された金額は消費税等を含んでいます。

# 出題分野

※この出題分野は2021年1月現在のものです。今後変更する可能性があります。全国規模で学力を測るために毎年新作問題を出题します。ただし、英語スピーキングでは過去に出題された問題を使用します。

## 国語 (50分) 100点

回		大問	出題範囲
6月	必 答	1	現代文・知識
		2	古文・知識
		3	現代文・評論
		4	現代文・小説
10月 1月	必 答	1	現代文・知識
		2	現代文・評論
		3	現代文・小説
	選択問題 1題選択	4	古文
		5	現代文・随筆

## 英語 (50分) 100点

回		大問	出題範囲
各回 共通	選択問題 1題選択	1	リスニング
		2	会話表現
	必 答	3	文法・語い語法
		4	読解
		5	表現力

※リスニングテストの所要時間は約10～11分です。

## 英語スピーキング ベネッセ採点版 20点

	大問	出題範囲
各回 共通 (全問必答)	A	《やり取り》身近な話題について英語でやり取りする
	B	《発表》スクリプトにそって、聞き手に伝わるように読む
	C	《発表》与えられた絵や図表について英語で説明する
	D	《やり取り》与えられた情報を踏まえて質問に答える

※実施1回当たりの所要時間は約25分、生徒の解答時間は約8分です。

## 数学 (50分) 100点

回		大問	出題範囲
6月	必 答	1	中学校の範囲
		2	中学校の範囲：関数のグラフ
		3	中学校の範囲：関数のグラフ
	選択問題 1題選択	4	中学校の範囲：図形
		5	数と式
10月	必 答	1	中学校の範囲、数と式
		2	中学校の範囲、数と式
	選択問題 2題選択	3	中学校の範囲：図形
		4	数と式
		5	2次関数の最大・最小
		6	2次関数のグラフと2次不等式
		7	場合の数
1月	必 答	1	数と式、2次関数*
		2	数と式、2次関数*
	選択問題 2題選択	3	数と式
		4	2次関数
		5	図形と計量
		6	場合の数と確率
		7	整数の性質
		8	図形の性質

\*中学校の範囲の内容を含むことがあります。

## 英語スピーキング 学校採点版 10点

	大問	出題範囲
各回 共通 (全問必答)	A	《やり取り》身近な話題について英語でやり取りする
	B	《発表》スクリプトにそって、聞き手に伝わるように読む
	C	《発表》与えられた絵や図表について英語で説明する

※1人当たりの所要時間は約8分、生徒の解答時間は約5分です。

# 思考力・判断力・表現力 育成機能の強化

生徒にこれからの実社会・実生活に生きる力をより身につけてほしいとの想いから、2018年度より思考力・判断力・表現力の出題強化、解答解説の充実、結果フィードバックの向上をしました。

### 問題

**数学問題例**

教科ごとに観点を設定し作問しています。

**国語**  
複数の情報を統合して多面的な視点で考える力

**数学**  
日常的な題材などにおいて数学の知識を活用する力

**英語**  
場面や目的に応じて英語で考えたり表現したりする力

### 解答解説

わかりやすく表現する力を伸ばすため、解答に向けたプロセスを記載しているところに「**表現力アップ**」のマークをつけ、詳しく解説

得点に関係する解答箇所には下線を引き、○×△をつけるポイント別採点を実施し、解答解説とも連動

### 答案

## 生徒用結果帳票

科目・項目	得点	割合
国語	42	44%
数学	47	40%

「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」のバランスを表示  
優先して取り組むべき「**解き直しお薦め問題**」を表示

# 実施の流れ

お客様サービスセンター  
**0120-350455** (通話料無料) | 受付時間 / 月～金 8:00～18:00  
土 8:00～17:00  
(祝日、年末・年始を除く)

## 実施前

### WEB (またはお電話) でお申し込み

※お申し込み後に、お申し込み部数をFAXで確認させていただきます。

お申し込み締切日	1年生6月	1年生10月	1年生1月
	5月7日(金)	10月1日(金)	12月17日(金)

### お届けするもの\*

- 問題冊子／解答解説
  - 受験カード
  - 教師用サポートブック
  - 実施の手引き 他
  - 学習・進路ノート
  - 学習・進路チェック
- ※英語スピーキング(ベネッセ採点版)については、資料を実施3営業日前をめぐりに別送します。
- 多様な角度から生徒の状況を確認するアンケートです(実施時間目安30分)。

## 実施

### 実施

### 事前準備

問題と一緒にお届けする「**実施の手引き**」をご確認ください。実施にあたっての手順、注意事項等をまとめています。

※お早めに部数等をご確認ください。万一不足がありましたら、「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

実施日	1年生6月	1年生10月	1年生1月
	5月29日(土)	10月23日(土)	1月15日(土)

## 実施後

### 結果のお届け

### お届けするもの

個人診断レポート、答案、教師用資料 他

2021年1月現在の予定ですので、今後変更する可能性があります。スケジュールに関するお問い合わせは、「お客様サービスセンター」までお願いします。

	弊社答案到着 締切日	FINE SYSTEM Compass データリリース予定日	インターネットフォルダ データリリース予定日	成績資料 発送予定日
1年生 6月	6月11日(金)	6月26日(土)	6月29日(火)	7月 1日(木)
1年生 10月	11月 5日(金)	11月20日(土)	11月23日(火)	11月27日(土)
1年生 1月	1月28日(金)	2月18日(金)	2月22日(火)	2月24日(木)

※学校から弊社への答案到着日によって、「FINE SYSTEM/Compassデータリリース予定日」「インターネットフォルダデータリリース予定日」「成績資料発送予定日」が異なります。

※成績結果データはインターネットフォルダでご提供しています。インターネットフォルダは教材受験結果など個人情報を扱うサービスです。FINE SYSTEMやCompass、インターネットフォルダなどのデジタルサービスをご利用になるには、先生個人ID登録が必要となります。詳しくはBenesse High School Online(<http://www.bhso.ne.jp>)、または「WEBサポートデスク:0120-350124(通話料無料)」にてご確認ください。

※使用している図版はイメージですので、実際とは異なる場合があります。

(様式4)

### 測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 3年4月-3年9月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定内容の区分：標準タイプ 測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】16問（程度） 【出題形式】選択式・短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、 <u>漢字を 読んだり適切な漢字を書いたり することができる。</u>	【設問数】5問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式	〔知識 及び 技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。  言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や筆者の主張・要旨を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式・記述式	C 読むこと B 書くこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、筆者の主張やその主張の根拠を捉えることができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと B 書くこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語のきまり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。</p> <p>ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p>



測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情</u> <u>および展開、要旨などを表現に</u> <u>即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式・記述式</p>	<p>A 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕</p>	<p>古典探究 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要なきまり（訓読のルール、基本的な句形・語彙など）を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>〔知識及び技能〕</p>	<p>古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情</u> <u>および展開、要旨などを表現に</u> <u>即して読み取ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問(程度) 【出題形式】選択式・ 短答式・記述式</p>	<p>A (思考力、判断力、 読むこと、表現力等)</p>	<p>古典探究 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。</p>

(様式4)

### 測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>累乗の計算を含む, 簡単な正の数と負の数の四則演算をすることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] 2 A (1) 正の数と負の数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
<u>与えられた文字式を指示に従って変形することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校指導要領 数学 [第2学年] 2 A (1) 文字を用いた式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 目的に応じて, 簡単な式を変形すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ を表す正しいグラフを選択することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 2 C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ について理解すること。
中心角と円周角の関係をもとに、与えられた円周角の大きさから、中心角の大きさを求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 2 B (2) 円周角と中心角の関係について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 円周角と中心角の関係を見いだすこと。
標本調査の知識を用いて母集団の数を求めることができる。	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学 〔第3学年〕 2 D (1) 標本調査について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
度数分布表から情報を読み取り集団の傾向を把握することができる。	【設問数】4問(程度) 【出題形式】短答式 サンプル問題 1(1)	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 D (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解すること。
日常的な事象において、条件を満たす式について文字を用いて表すことができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
日常的な事象において、連立方程式を解いて、条件を満たすような値を求めることができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】記述式 サンプル問題 1(2)(i)(ii)	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ について、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 関数	<p>中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕</p> <p>2 C</p> <p>(1) 関数 <math>y=ax^2</math> について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p>
座標平面上の関数 $y=ax^2$ のグラフ上の点を頂点とする三角形の面積について求めることができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式		<p>中学校学習指導要領 数学 〔第 2 学年〕</p> <p>2 C</p> <p>(1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学 〔第 3 学年〕</p> <p>2 C</p> <p>(1) 関数 <math>y=ax^2</math> について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 関数 <math>y=ax^2</math> として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解ける。	【設問数】 2問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2(1)	(1) 数と式	<b>数学 I</b> (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
不等式の性質を利用して、簡単な連立一次不等式が解ける。また、不等式を満たす整数について考察することができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2(2)		<b>数学 I</b> (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
与えられた無理数と整数の大小関係を評価して、不等式を満たすような整数を考察することができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2(3)		<b>数学 I</b> (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。



(様式4)

### 測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年6月 (複数の選択大問があるため,受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>文字を含む式の累乗の表し方を理解し,簡単な計算ができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2) イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。
<u>鋭角の正弦と余弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について,数学的活動を通して,その有用性を認識するとともに,次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
<u>因数分解の公式を用いて,簡単な式の因数分解ができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について,数学的活動を通して,次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>簡単な命題の真偽を判断</u> できる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1)  数と式	数学 I (1) 数と式  数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。
<u>三角比の公式を用いて三角形の辺の長さや面積を求めることができる。</u>	【設問数】3問(程度) 【出題形式】短答式	(2)  図形と計量	数学 I (2) 図形と計量  図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
日常的な事象において、 <u>条件を満たすような式を文字を用いて表す</u> ことができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】短答式	A  数と式	中学校指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2)  エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
日常的な事象において、一次不等式を解いて、条件を満たすような値を求めその過程を説明することができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】記述式	(1) 数と式	<b>数学 I</b> (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
平方完成について理解し、二次関数のグラフの頂点(の座標)を求めることができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	<b>数学 I</b> (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
二次関数のグラフの平行移動について理解し、二次関数を平行移動して得られるグラフの関数を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】記述式	(3) 二次関数	<b>数学 I</b> (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>定義域が変化するときの二次関数の最大値や最小値について、定義域に注意しながら考察することができる。</u>	<b>【設問数】</b> 1問 <b>【出題形式】</b> 記述式	(3) 二次関数	<b>数学 I</b> (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
<u>順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u>	<b>【設問数】</b> 1問 <b>【出題形式】</b> 選択式	(2) 場合の数と確率	<b>数学 A</b> (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p><u>事象を考察する際に順列と組合せについて理解し、事象をもれなく数え上げることができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A</p> <p>(2) 場合の数と確率</p> <p>場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。</p> <p>(イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。</p>

(様式4)

### 測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 2年10月-3年9月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>因数分解の公式を用いて、簡単な式の因数分解ができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
<u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解ける。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
<u>分母が二項程度までの分数の分母の有理化を扱うことができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>図形と計量で学習する定理や公式を用いて、三角比の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
<u>与えられた情報を分類・整理し正しい条件を推測することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	用 D データの活	中学校学習指導要領 数学 [第 2 学年] 2 D (2) 不確定な事象の起こりやすさ ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。
<u>与えられたデータの代表値を求めることができる。</u>	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 短答式	(4) データの分析	数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。
<u>事象の規則性を文字を使って説明することができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校指導要領 数学 [第 2 学年] 2 A (1) 文字を用いた式 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>事象の規則性を文字を使って説明し、説明を振り返って考えることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	A  数と式	中学校指導要領 数学〔第2学年〕  2 A (1) 文字を用いた式 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。
<u>二次関数のグラフの軸や頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式	(3)  二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
<u>定義域が指定された二次関数において最大値や最小値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
<u>定義域が変化するときの二次関数の最大値や最小値について、定義域に注意しながら考察することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。



測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>座標平面上の二点の距離や中点を求めることができる。</u>	【設問数】 2問 【出題形式】 選択式	② 図形と方程式	<b>数学Ⅱ</b> (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。
<u>中心や半径が与えられた円の方程式を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式		<b>数学Ⅱ</b> (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。
<u>円の方程式を用いて円と方程式の位置関係について調べることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式		<b>数学Ⅱ</b> (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:(株)ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、<u>その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。</u></p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 7問 英語コミュニケーションI 3問 【CEFR】A1程度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サンプル問題 1</span></p>	<p>聞くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

<p>・文レベルで、<u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。</u></p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 8問 英語コミュニケーションI 2問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	--	------------------	---

(様式4)

<p>・与えられた<u>図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 英語コミュニケーションI 1問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
--	---	------------------	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、<u>テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式・短答式・記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションI 2問 【CEFR】A1～A2程度 <u>サンプル問題2</u></p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、<u>英文を構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度</p>	書 く こ と	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。</p>
<p>・与えられた日本語の内容について、<u>英語で正しく表現</u>することができる。</p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～A2程度 <u>サンプル問題 3</u></p>		<p>英語コミュニケーションⅠ 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた会話や図表などの状況から、 <u>状況を英文で表現することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1~A2程度		(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、 <u>「やり取り」</u> することができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に 応答したり自ら質問し返したりする活動。
・ <u>図や表</u> について、聞き手にその内容が伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず サンプル問題 4		① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなど



(様式4)

<p>・<u>図や表に関する問い</u>に即座に応じて、「<u>やり取り</u>」することができる</p>	<p>【設問数】 1問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>をまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする</p>
---	--	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:(株)ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、<u>その場面や状況、会話の流れなどを推測</u>することができる。</p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 1年1月 義務教育範囲 7問 英語コミュニケーションI 3問 2年6月～2年10月 義務教育範囲 5問 英語コミュニケーションI 5問  【CEFR】A1程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。  英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

<p>・文レベルで、<u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。</u></p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年1月 義務教育範囲 8問 英語コミュニケーションI 2問 2年6月～2年10月 義務教育範囲 5問 英語コミュニケーションI 5問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	--	------------------	---

(様式4)

<p>・与えられた<u>図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問  【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
--	--	------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、<u>テーマや概要をとらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式・短答式・記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションI 2問  【CEFR】A1～A2程度 <u>サンプル問題 2</u></p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、<u>英文を構築することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度</p>	書 く こ と	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
<p>・与えられた日本語の内容について、<u>英語で正しく表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1～A2程度</p>		



(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた会話や図表などの状況から、 <u>状況を英文で表現することができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1～A2程度		(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、 <u>「やり取り」</u> することができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に 応答したり自ら質問し返したりする活動。
・ <u>図や表</u> について、聞き手にその内容が伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず サンプル問題 4		① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなど

(様式4)

<p>・<u>図や表に関する問い</u>に即座に応じて、「やり取り」することができる</p>	<p>【設問数】 1問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>をまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする</p>
--	---	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 2年1月-3年9月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、<u>その場面や状況、会話の流れなどを推測</u>することができる。</p>	<p>【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 2年1月 義務教育範囲 4問 英語コミュニケーションI 4問 3年4月～3年9月 義務教育範囲 2問 英語コミュニケーションI 6問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>聞くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (4) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

(様式4)

<p>・文レベルで、<u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。</u></p>	<p>【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2年1月 義務教育範囲 5問 英語コミュニケーションI 5問 3年4月～3年9月 義務教育範囲 2問 英語コミュニケーションI 8問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	---	------------------	---

(様式4)

<p>・与えられた<u>図表などの情報</u>を正しく読み取り、英語で<u>描写することが</u>できる。</p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (4) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---	---	------------------	---

(様式4)

<p>・まとまりのある文章を読んで、その<u>テーマや概要をとらえることができる。</u></p>	<p>【設問数】5問（程度） 【出題形式】 選択式・短答式 【出題数の割合】 2年1月 義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションI 2問 3年4月～3年9月 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションI 2問 英語コミュニケーションII 2問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。</p> <p>英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>英語コミュニケーションII 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、</p>
---	--	-------------	--



(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
			話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、 <u>英文を構築することができる。</u>	<b>【設問数】</b> 3問 (程度) <b>【出題形式】</b> 選択式 (整序) <b>【出題数の割合】</b> 義務教育範囲 3問 <b>【CEFR】</b> A1 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと。 (7) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (4) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。
・与えられた日本語の内容について、 <u>英語で正しく表現することができる。</u>	<b>【設問数】</b> 1問 (程度) <b>【出題形式】</b> 記述式 <b>【出題数の割合】</b> 英語コミュニケーション I 1問 <b>【CEFR】</b> A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた会話や図表などの状況から、<u>状況を英文で表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1~A2程度</p>		<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
<p>・身近な話題に関する問いに即座に応じて、<u>「やり取り」</u>することができる</p>	<p>【設問数】4問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる</p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。</p> <p>(イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。</p> <p>(ロ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。</p> <p>① オ 話すこと [発表]</p> <p>(7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。</p> <p>(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。</p> <p>(ロ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。</p>
<p>・図や表について、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができる</p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>英語コミュニケーション I 2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① エ 話すこと [やり取り]</p> <p>(7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>図や表に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</u></p>	<p>【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず</p>		<p>況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。 また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p> <p>① オ 話すこと [発表]</p> <p>(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>

## サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号 1

出題科目	中学校 数学																													
出題のポイント	知識・技能の問題を通しての活用と, 日常的・数学的な事象において解決の仮定を表現する力を測定する。																													
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) (i)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) (ii)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2) (i)	○		(2) (ii)		○															
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																												
(1)	○																													
(2) (i)	○																													
(2) (ii)		○																												
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) (i)</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) (ii)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)		○		(2) (i)		○		(2) (ii)			○											
小問番号	選択式	短答式	記述式																											
(1)		○																												
(2) (i)		○																												
(2) (ii)			○																											
サンプル問題	<p>2 次の <input type="text"/> を正しくうめなさい。また, (2)(ii)は, 言葉や数式を用いて説明しなさい。</p> <p style="text-align: right;">(配点 20) (必答問題)</p> <p>(1) 右の表は, ある高等学校の生徒 40 人の通学時間の度数分布表である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>階級(分)</th> <th>度数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0 ~ 10</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>10 ~ 20</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>20 ~ 30</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>30 ~ 40</td> <td><math>x</math></td> </tr> <tr> <td>40 ~ 50</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>50 ~ 60</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(i) <math>x =</math> <input type="text"/> ア <input type="text"/> である。</p> <p>(ii) 20 分以上 30 分未満の階級の相対度数は <input type="text"/> イ <input type="text"/> である。</p> <p>(iii) 中央値が含まれる階級は <input type="text"/> ウ <input type="text"/> 分以上 <input type="text"/> エ <input type="text"/> 分未満である。</p> <p>(iv) 平均値は <input type="text"/> オ <input type="text"/> 分である。</p> <p>(2) 次のような工場で, 機械の部品を作っている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工場名</th> <th>1日あたりの生産量</th> <th>1日あたりに必要な費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A工場</td> <td>5000個</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>B工場</td> <td>2000個</td> <td>10万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>A工場が<math>x</math>日, B工場が<math>y</math>日稼働したとき, 2つの工場の生産量の合計と必要な費用の合計を考える。ただし, <math>x, y</math>は自然数とする。</p> <p>(i) A工場が<math>x</math>日稼働したときの生産量を<math>x</math>を用いて表すと <input type="text"/> カ <input type="text"/> 個である。また, B工場が<math>y</math>日稼働したときに必要な費用を<math>y</math>を用いて表すと <input type="text"/> キ <input type="text"/> 万円である。</p> <p>(ii) A工場とB工場で合わせてちょうど10万個生産し, このときに必要な費用の合計が440万円であった。このとき, A工場は <input type="text"/> ク <input type="text"/> 日稼働し, B工場は <input type="text"/> ケ <input type="text"/> 日稼働した。</p> <p><input type="text"/> ク <input type="text"/> , <input type="text"/> ケ <input type="text"/> については, 求めた過程を言葉や数式を用いて説明しなさい。</p>			階級(分)	度数(人)	以上 未満		0 ~ 10	3	10 ~ 20	5	20 ~ 30	8	30 ~ 40	$x$	40 ~ 50	11	50 ~ 60	3	計	40	工場名	1日あたりの生産量	1日あたりに必要な費用	A工場	5000個	20万円	B工場	2000個	10万円
階級(分)	度数(人)																													
以上 未満																														
0 ~ 10	3																													
10 ~ 20	5																													
20 ~ 30	8																													
30 ~ 40	$x$																													
40 ~ 50	11																													
50 ~ 60	3																													
計	40																													
工場名	1日あたりの生産量	1日あたりに必要な費用																												
A工場	5000個	20万円																												
B工場	2000個	10万円																												

解答例

(1)

[解答] (i)  $3+5+8+x+11+3=40$

$x=40-30$

よって  $x=10$  ……[答]

(ii) 20分以上30分未満の階級の度数は8であるから求める相対度数は

$\frac{8}{40}=\frac{1}{5}$

$=0.2$  ……[答]

(iii) 40人の通学時間の中央値は20番目と21番目の平均値であり、いずれも30分以上40分未満の階級に含まれている。

したがって、中央値が含まれる階級は

30分以上40分未満 ……[答]

(iv)  $\frac{1}{40}(5 \times 3 + 15 \times 5 + 25 \times 8 + 35 \times 10 + 45 \times 11 + 55 \times 3)$

$=\frac{1300}{40}$

$=32.5$ (分) ……[答]

(2)

※ (2) 次のような工場で、機械の部品を作っている。

工場名	1日あたりの生産量	1日あたりに必要な費用
A工場	5000個	20万円
B工場	2000個	10万円

A工場がx日、B工場がy日稼働したとき、2つの工場の生産量の合計と必要な費用の合計を考える。ただし、x, yは自然数とする。

(i) A工場がx日稼働したときの生産量をxを用いて表すと [カ] 個である。また、B工場がy日稼働したときに必要な費用をyを用いて表すと [キ] 万円である。

(ii) A工場とB工場で合わせてちょうど10万個生産し、このときに必要な費用の合計が440万円であった。このとき、A工場は [ク] 日稼働し、B工場は [ケ] 日稼働した。

[ク]、[ケ]については、求めた過程を言葉や数式を用いて説明しなさい。  
(カ、キ各2点、ク、ケ各1点、説明4点)

[解答] (i) A工場がx日稼働したときの生産量をxを用いて表すと5000x個 ……[答]

また、B工場がy日稼働したときに必要な費用をyを用いて表すと10y万円 ……[答]

(ii) A工場とB工場で合わせてちょうど10万個生産するから

$5000x+2000y=100000$

すなわち  $5x+2y=100$

このときに必要な費用の合計が440万円であるから

$20x+10y=440$

すなわち  $2x+y=44$

したがって、連立方程式

$\begin{cases} 5x+2y=100 & \text{……①} \\ 2x+y=44 & \text{……②} \end{cases}$

において、①-②×2より

$x=12$

これを②に代入して

$y=20$

よって、A工場は12日、B工場は20日稼働した。 ……[答]

※ [ここに注目!]

「生産量は(1日あたりの生産量)×(稼働日数)、費用は(1日あたりに必要な費用)×(稼働日数)で表される。」

✓ [チェック]

□ 今回の問題のポイントがわかった!

※ [考え方のプロセス]

今回の問題は以下のようなプロセスで考えられる!



一般化 わからないことを文字で書いて、与えられた条件を文字を用いてどのように表すかを考える。

今回は問題で、「A工場の稼働日数が何日」⇒「x日」、「B工場の稼働日数が何日」⇒「y日」とおいている。このことから、部品の生産量と必要な費用は次のようになる。  
・A工場の生産量：5000x 個  
・A工場の費用：20x 万円  
・B工場の生産量：2000y 個  
・B工場の費用：10y 万円

✓ 一般化

□ A工場の稼働日数がx日、B工場の稼働日数がy日から、それぞれの工場での生産量と費用を文字を用いて表すことができた!

表現(立式) 2つの条件から方程式を立てる。

生産量の合計が10万個で、必要な費用の合計が440万円であるから  
(A工場の生産量)+(B工場の生産量)=10万(個)  
(A工場の費用)+(B工場の費用)=440万(円)  
と方程式を使って表現できる。

✓ 表現

□ 2つの工場で生産する合計の生産量とそのときに必要な費用の合計から、方程式を立式できた!

結論 連立方程式を解いて、答えを求める。

✓ 結論

□ 連立方程式を解くことができた!  
□ 答えを求めることができた!

(参考) 学習指導要領の関連項目

中学校学習指導要領 数学 [第1学年]

2 D

(1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること。

中学校指導要領 数学 [第1学年]

2 A

(2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。

## サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

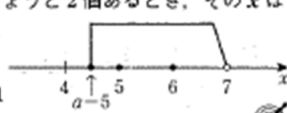
対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号 2

出題科目	数学 I																		
出題のポイント	文字定数を含む不等式の範囲に、与えられた無理数が含まれるかどうかを、無理数の大小を評価しながら考察する問題。																		
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)		○	(3)		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)		○																	
(3)		○																	
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)			○	(3)			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)			○																
(3)			○																
サンプル問題	<p><b>5</b> <math>x</math> についての2つの不等式 <math>5x-6 &lt; 3x+8</math> ……<b>Ⓐ</b> と <math>x+a \leq 2x+5</math> ……<b>Ⓑ</b> がある。ただし、<math>a</math> は定数とする。(配点 30)</p> <p>(1) 次の <input type="text"/> にあてはまるものを下の<b>1</b>~<b>4</b>の中から1つずつ選び、番号で答えなさい。</p> <p>不等式<b>Ⓐ</b>を解くと <input type="text"/> <b>ア</b> であり、不等式<b>Ⓑ</b>を解くと <input type="text"/> <b>イ</b> である。</p> <p><input type="text"/> <b>ア</b> の選択肢群] <b>1</b> <math>x &lt; -14</math>   <b>2</b> <math>x &lt; -7</math>   <b>3</b> <math>x &lt; 7</math>   <b>4</b> <math>x &lt; 14</math></p> <p><input type="text"/> <b>イ</b> の選択肢群] <b>1</b> <math>x \leq a-5</math>   <b>2</b> <math>x \geq a-5</math>   <b>3</b> <math>x \leq a+5</math>   <b>4</b> <math>x \geq a+5</math></p> <p>(2) 連立不等式 <math display="block">\begin{cases} 5x-6 &lt; 3x+8 \\ x+a \leq 2x+5 \end{cases}</math> ……<b>Ⓒ</b> を満たす <math>x</math> が存在するような <math>a</math> の値の範囲を求めなさい。また、連立不等式<b>Ⓒ</b>を満たす整数 <math>x</math> がちょうど2個あるような <math>a</math> の値の範囲を求めなさい。</p> <p>(3) <math>a</math> は正の整数とする。方程式 <math>\sqrt{2}x+1=x</math> の解が不等式<b>Ⓑ</b>を満たすとき、<math>a</math> の値をすべて求めなさい。</p>																		



<p>解答例</p>	<p>〔解答〕</p> <p>(1) 不等式①より <math>5x-3x &lt; 8+6</math>  <math>2x &lt; 14</math>  <math>x &lt; 7</math> ……①</p> <p>不等式②より <math>x-2x \leq -a+5</math>  <math>-x \leq -a+5</math>  <math>x \geq a-5</math> ……②</p> <p>(2) ①, ②より, 連立不等式③を満たす <math>x</math> の範囲が存在するためには  <math>a-5 &lt; 7</math>      であればよいから  <math>a &lt; 12</math> ……③</p> <p>このとき, 連立不等式③の解は <math>a-5 \leq x &lt; 7</math> ……④</p> <p>また, 不等式④を満たす整数 <math>x</math> がちょうど2個あるとき, その <math>x</math> は5, 6であるから  <math>4 &lt; a-5 \leq 5</math>      よって <math>9 &lt; a \leq 10</math> ……⑤</p> <p>(3) <math>\sqrt{2}x+1=x</math> より <math>(\sqrt{2}-1)x=-1</math></p> $x = -\frac{1}{\sqrt{2}-1} = -\frac{\sqrt{2}+1}{(\sqrt{2}-1)(\sqrt{2}+1)}$ $= -\sqrt{2}-1$ <p>これが, 不等式②を満たすから  <math>a-5 \leq -\sqrt{2}-1</math>  <math>a \leq 4-\sqrt{2}</math> ……⑥</p> <p><math>1 &lt; \sqrt{2} &lt; 2</math> より, <math>2 &lt; 4-\sqrt{2} &lt; 3</math> であるから, ⑥を満たす正の整数 <math>a</math> は  <math>a=1, 2</math> ……⑦</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ポイント</b></p> <p>不等式も方程式と同様に移項することができる。          不等式の両辺を同じ正の数で割っても, 不等号の向きは変わらない。          不等式の両辺を同じ負の数で割ると, 不等号の向きが変わる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ポイント</b></p> <p>数直線をかいて考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>押さえよう</b></p> <p>分母の有理化 (<math>a &gt; 0, a \neq b^2</math>)</p> <math display="block">\frac{1}{\sqrt{a}-b} = \frac{\sqrt{a}+b}{(\sqrt{a}-b)(\sqrt{a}+b)}</math> <math display="block">= \frac{\sqrt{a}+b}{a-b^2}</math> </div> 
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>数学 I</p> <p>2 (1)</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めること。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

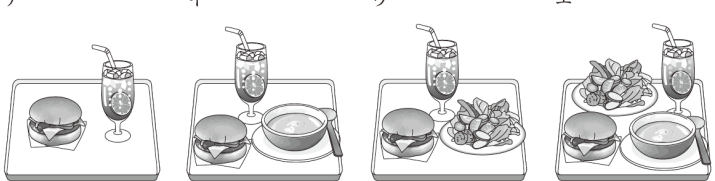
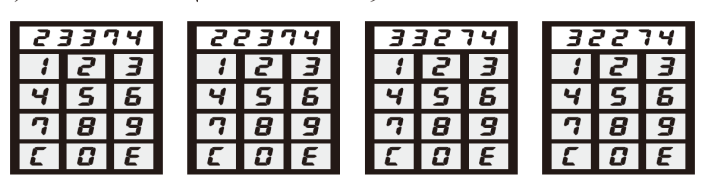
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

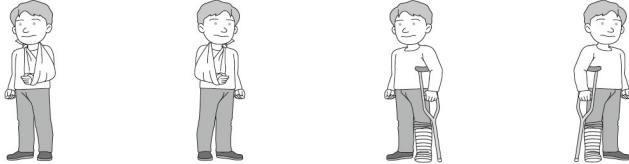
測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	中学校学習指導要領 外国語、英語コミュニケーション I																							
出題のポイント	図で与えられた情報と、音声で与えられる情報とを正しく比較できるかを測定する。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	No. 1	○		No. 2	○		No. 3	○									
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	No. 1	○			No. 2	○			No. 3	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	No. 1	○				No. 2	○				No. 3	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
サンプル問題	<p>次に放送される二人の人物による会話を聞いて、それに関する質問の答えとして最も適切なものを、それぞれ下のア～エのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、会話は二回ずつ読まれる。</p> <p>No. 1 What did the man order ?</p> <p>ア                      イ                      ウ                      エ</p>  <p>No. 2 What is the correct code ?</p> <p>ア                      イ                      ウ                      エ</p> 																							

	<p>No. 3 According to the conversation, which picture of the man is correct ?</p> <p>ア                      イ                      ウ                      エ</p>  <p>【放送文】</p> <p>No. 1 Woman : Are you ready to order ? Man : Yes, can I have a cheeseburger and a pink lemonade, please ? Woman : Certainly. Would you like soup or salad with that ? Man : No, thanks.</p> <p>No.2 Woman : Hi, Mike. What's wrong ? Man : I can never remember the code to the back door. Is it 23374 ? Woman : No, you've got the first part wrong. It's 32274. Man : Thanks.</p> <p>No.3 Woman : What happened to your arm ? Man : Oh, I broke it snowboarding over the weekend. Woman : Are you OK ? Man : Yeah, thankfully I'm left-handed so it's not much of a problem.</p>
<p>解答例</p>	<p>No.1 ア    No.2 エ    No.3 イ</p> <p>会話の中で、情報が追加されたり、訂正されたりすることに注意することがポイント。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① イ 聞くこと</p> <p>(ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。</p> <p>(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。</p> <p>英語コミュニケーション I</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① イ 聞くこと</p> <p>(ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。</p>

## サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	中学校学習指導要領 外国語、英語コミュニケーション I													
出題のポイント	ある程度の長さの英文を読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。													
主として問う能力	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>小問番号</td> <td>知識・技能</td> <td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td colspan="2">○</td> </tr> </table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>小問番号</td> <td>選択式</td> <td>短答式</td> <td>記述式</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	—	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—	○													
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>小問番号</td> <td>聞く</td> <td>読む</td> <td>話す</td> <td>書く</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	—		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—		○												
サンプル問題	<p>次の英文を読んで、その要旨〔まとめの内容〕として最も適当なものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。</p> <p style="text-align: center;">I have only 4 months until my graduation from college. My friends have only been talking about getting a job. However, I really don't care about that right now. My plan after college is to travel. I want to go somewhere where I can meet people from different cultures. I hope they will show me things I have never seen before and help me to have new experiences. I have some worries though. My biggest worry is about money. I need to save hard now and make a money plan for my trip. I'm a little nervous but I'm really excited about what will happen.</p> <p>ア 筆者は大学卒業まであと4か月しかないが、就職のことは全く気にしていない。          イ 筆者は旅先で今までに見たことのないものを見たり、新しい経験をしたいと思っている。          ウ 筆者にとっての最大の心配事は、一生懸命貯金をして旅行のためのお金の計画を立てることである。          エ 筆者は不安なこともあるが、異文化の人々と新しい経験をする大学卒業後の旅行で何が起こるかとてもワクワクしている。</p>													
解答例	<p>エ</p> <p>第1～4文で、「大学卒業後は旅行を計画している」こと、第5・6文では「その行き先とそれに期待すること」、第7～9文で「心配な点とそのために今やるべきこと」がそれぞれ具体的に述べられている。最終文で「少し不安ではあるが、何が起きるかとてもワクワクしている」と結んでいる。部分だけでなく全体の内容を踏まえてまとめたものを選択する。</p>													

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。</p> <p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝える活動。</p>
---------------------------------------	--

サンプル問題について

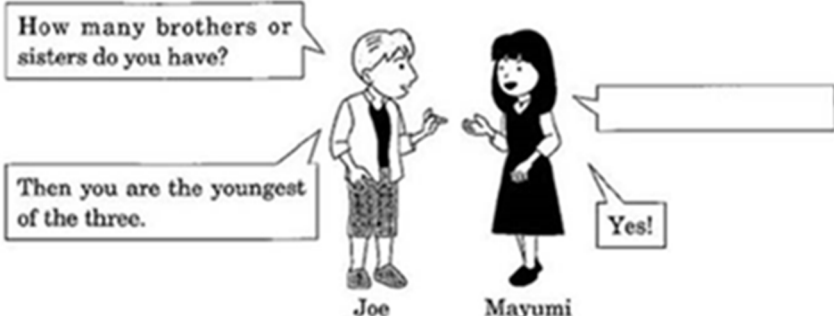
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーション I			
出題のポイント	空所を含む会話の内容を読みとり、空所に入れるべき英文を適切に表現できるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す ○
サンプル問題	<p>空所に適切な7語程度の英語を入れて、自然な会話を完成させなさい。文は2文になってもかまいません。</p> 			
解答例	<p>I have an elder brother and an elder sister.</p> <p>空所の前後の会話の内容に応じて、きょうだいの有無や人数、また自分より年上か年下かなどの英語表現ができるかがポイント。</p>			
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>英語コミュニケーション I</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① カ 書くこと</p> <p>(7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>			

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション  
 測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月  
 対象教科:英語  
 測定内容の区分:標準タイプ  
 サンプル問題番号:4

出題科目	英語コミュニケーション I											
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。											
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○									
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○								
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す ○								
サンプル問題	<p>(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。)</p> <p>以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。</p> <div style="text-align: center;"> <p>How do students come to school?</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Transportation Method</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By bus</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>By train</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>Others</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ By bus ■ By train ■ Others</p> </div>				Transportation Method	Percentage	By bus	56%	By train	28%	Others	16%
Transportation Method	Percentage											
By bus	56%											
By train	28%											
Others	16%											
解答例	<p>解答例: At this school, students come to school more by bus than train.</p> <p>解説: グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</p>											

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p>
---------------------------------------	--